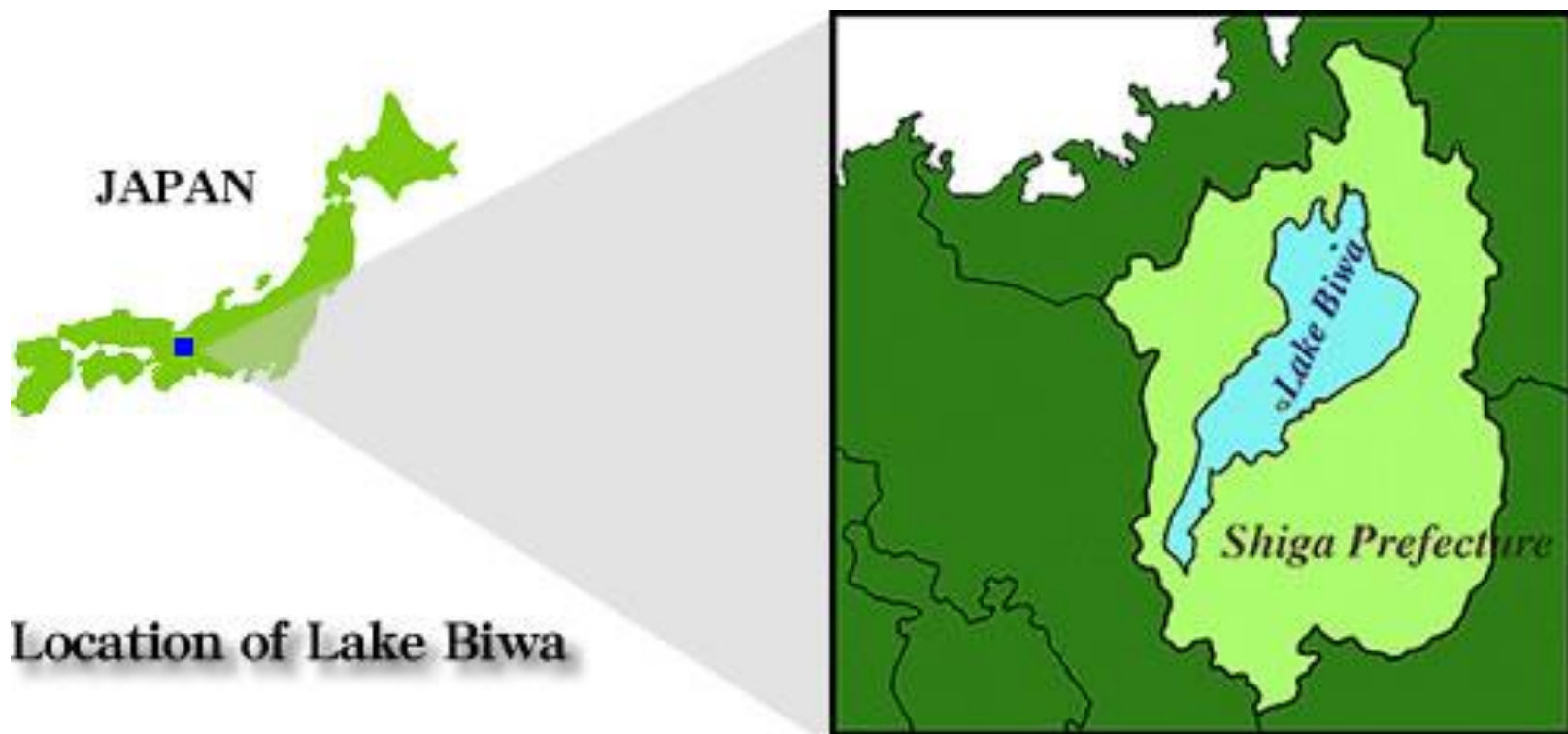


# 環境こだわり農業について



令和3年(2021年)8月3日  
滋賀県農政水産部  
食のブランド推進課環境こだわり農業係

# 滋賀県の位置・地勢



Location of Lake Biwa

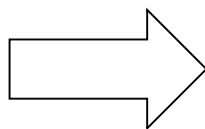
- 日本列島の**ほぼ中央**に位置
- 国土の**約1%**の面積
- 琵琶湖は県の中央に位置し、面積は県全体の**約1/6**を占める

# 琵琶湖のあらまし

- 約400万年前にできた日本で最古、世界ではバイカル湖、タンガニイカ湖に次いで古い、日本最大の湖
- 流入河川は約460本、流出河川は瀬田川と琵琶湖疏水の計2本
- 全部の水が入れ替わるのに約19年
- 生物相が豊か（約600種の動物、約500種の植物が生息）
- ビワマスやセタシジミなどの固有種



周囲を1,000m級の山々に囲まれ、  
県のほぼ全域が琵琶湖水系



県内で降った雨、使った水は  
全て琵琶湖に流れ込む

# 琵琶湖の富栄養化・淡水赤潮

- 富栄養化現象・・・植物の栄養素である「ちっ素」や「りん」が流入して、プランクトンや水生植物が異常に繁殖し、水質悪化
- 淡水赤潮・・・ウログレナ・アメリカーナという植物プランクトンが原因（湖水が赤褐色に変色し、生臭い臭いを伴う）  
⇒昭和52年(1977)年に初めて発生



【ウログレナ・アメリカーナ】

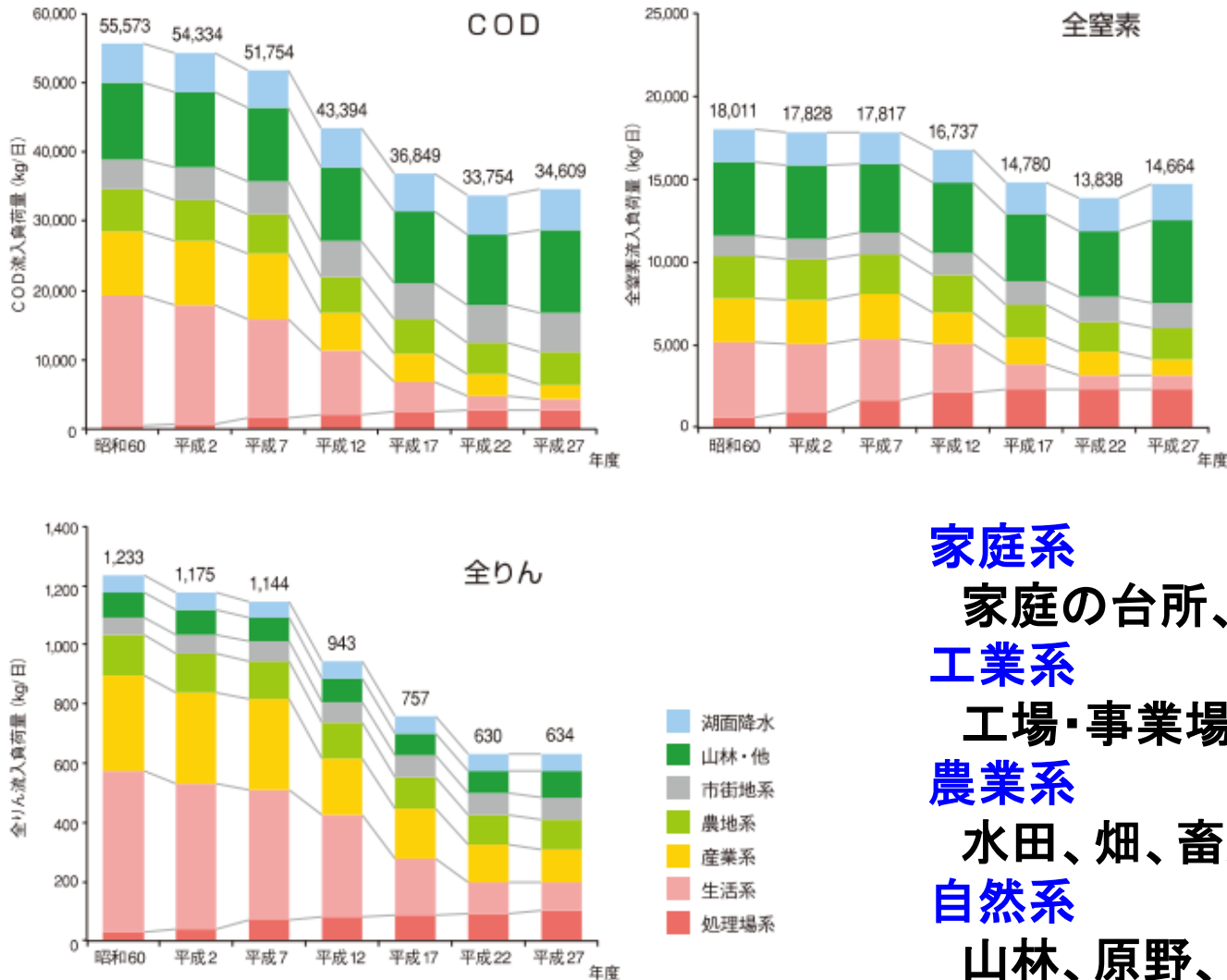


【赤褐色の縞状に発生した様子】

# 発生源別汚濁負荷

## 琵琶湖に流入する汚濁負荷量の推移

出典：第7期琵琶湖湖沼水質保全計画(平成28～令和2年度)



### 家庭系

家庭の台所、風呂、便所等

### 工業系

工場・事業場等

### 農業系

水田、畑、畜産等

### 自然系

山林、原野、雨等

図1 琵琶湖に流入する汚濁負荷量の推移



# 農業系の負荷

水田からの農業排水の流出



# 琵琶湖の水質保全対策

昭和54年(1979年) **富栄養化防止条例**制定

・・・全国に先駆けた窒素・リンの排水規制  
(りんを含む家庭用合成洗剤の使用禁止等)

家庭系

粉石けん運動、下水道

工業系

工場等の排水規制強化

農業系

- **営農対策**

- 施肥法の適正化(基肥を減量、施肥田植機)

- 田面水管理の適正化(浅水代かき)

- **施設対策(農業排水の反復利用)**

- **啓発対策(農業排水巡回パトロール)**

・・・家庭系、工業系の取組が進み、農業系の負荷割合が相対的に増加 7

# 農家のさらなる取組の推進

## 問題点

- 琵琶湖水質保全に対する一層の必要性
- 農業者に過度の負担

## 新たな対策に求められるもの

- 普通以上に(負荷軽減に)努力する農業者への支援
- 農業者の自発的な取り組みを促進
- 県民(消費者)に分かりやすい“透明な”施策

平成15年(2003年) 滋賀県環境こだわり農業推進条例

環境こだわり農産物認証 & 環境農業直接支払



# 「環境こだわり農産物」認証

- 認証された農産物には県の**認証マーク**を貼付して出荷・販売できる。

□認証主体：県 □認証費用：無料 □毎年、計画・記録・実績の提出必要



# 環境こだわり農産物のPR・販売促進

食べることで、びわ湖を守る。

イートエコ  
eat  
eco  
SHIGA

美しい「びわ湖」のために。

美しいびわ湖は私たちの誇り。

おいしい農作物を作るためといっても汚したくない。だから生産者の方々は、  
農業や化学肥料を50%以下に減らして栽培する、びわ湖にも健康にも優しい「環境こだわり農業」を行っています。

私たち消費者は、そうして作られた農作物を「選び」「食べる」ことで応援し、  
みんなで美しいびわ湖を守りましょう。



## 環境こだわり農産物

「消費者が求める、より安全で安心な農産物を消費者に供給する。」「農業や化学肥料の使用量を減らすなど、農業が環境に与える負荷を減らし、かけがえのないびわ湖と共存する。」ことを目的として、生産者が丹誠こめて育てる「環境こだわり農産物」。滋賀県や市町も技術支援や経済支援、認証制度などで生産者をバックアップ。消費者が「環境こだわり農産物」を「選び」「食べる」ことで、県民みんなが支える環境に優しい農業が実現できます。



# 環境農業直接支払制度(2004~★)

- 農薬・化学肥料を通常の5割以下に減らすための増加コストを農業者に直接支援

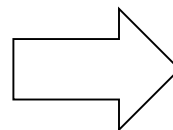
## 算出根拠 (水稻の場合)

### 生産費

肥料費の増加	5,090円
化学合成農薬費の減少	△3,204円
労働費の増加	3,342円

計 (増加コスト) 5,228円

≒ 5,000円

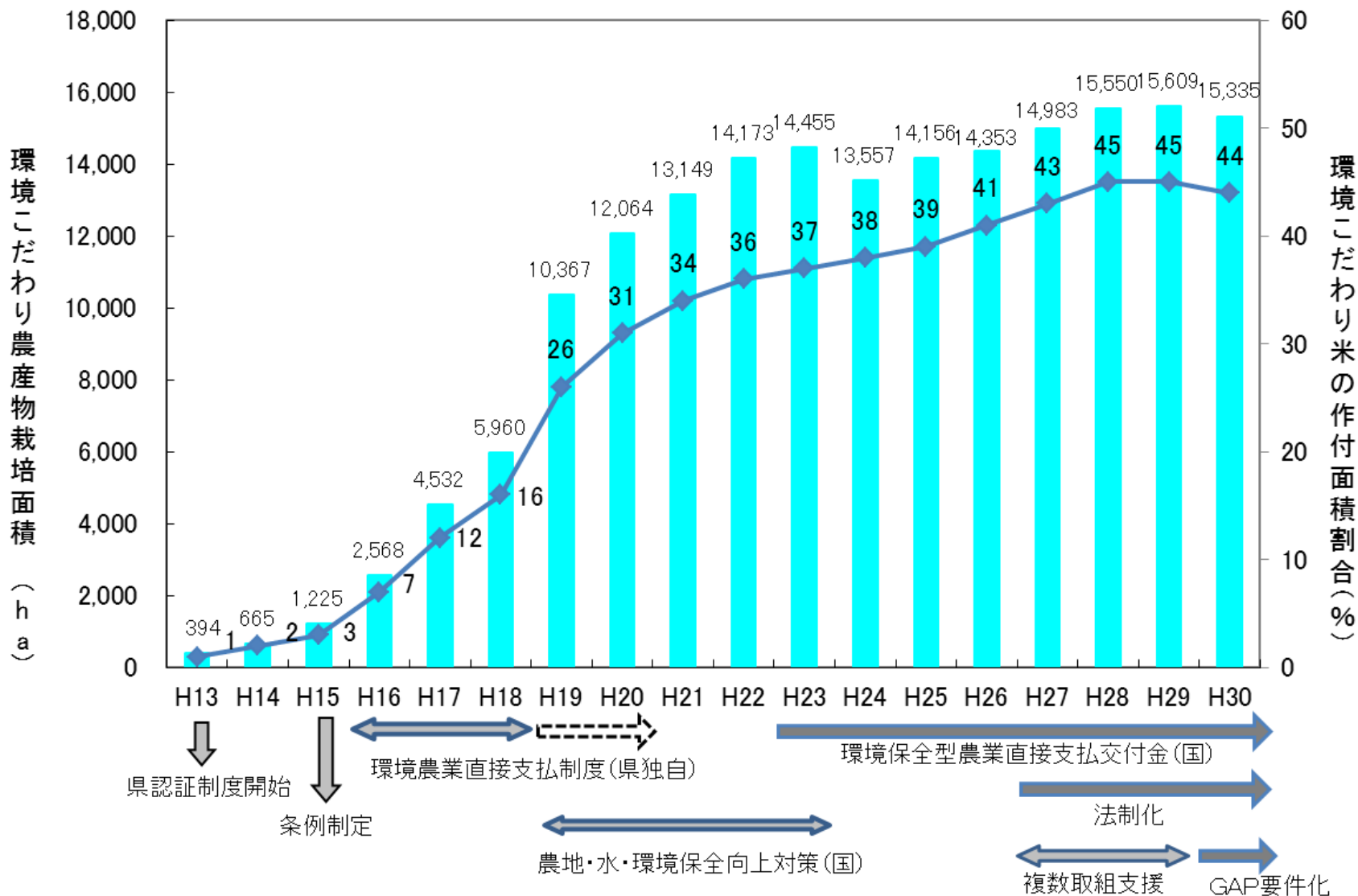


交付単価  
5,000円/10a

★2007年から国の制度となる  
(滋賀県が国を動かした！)



# 環境こだわり農産物栽培面積の推移

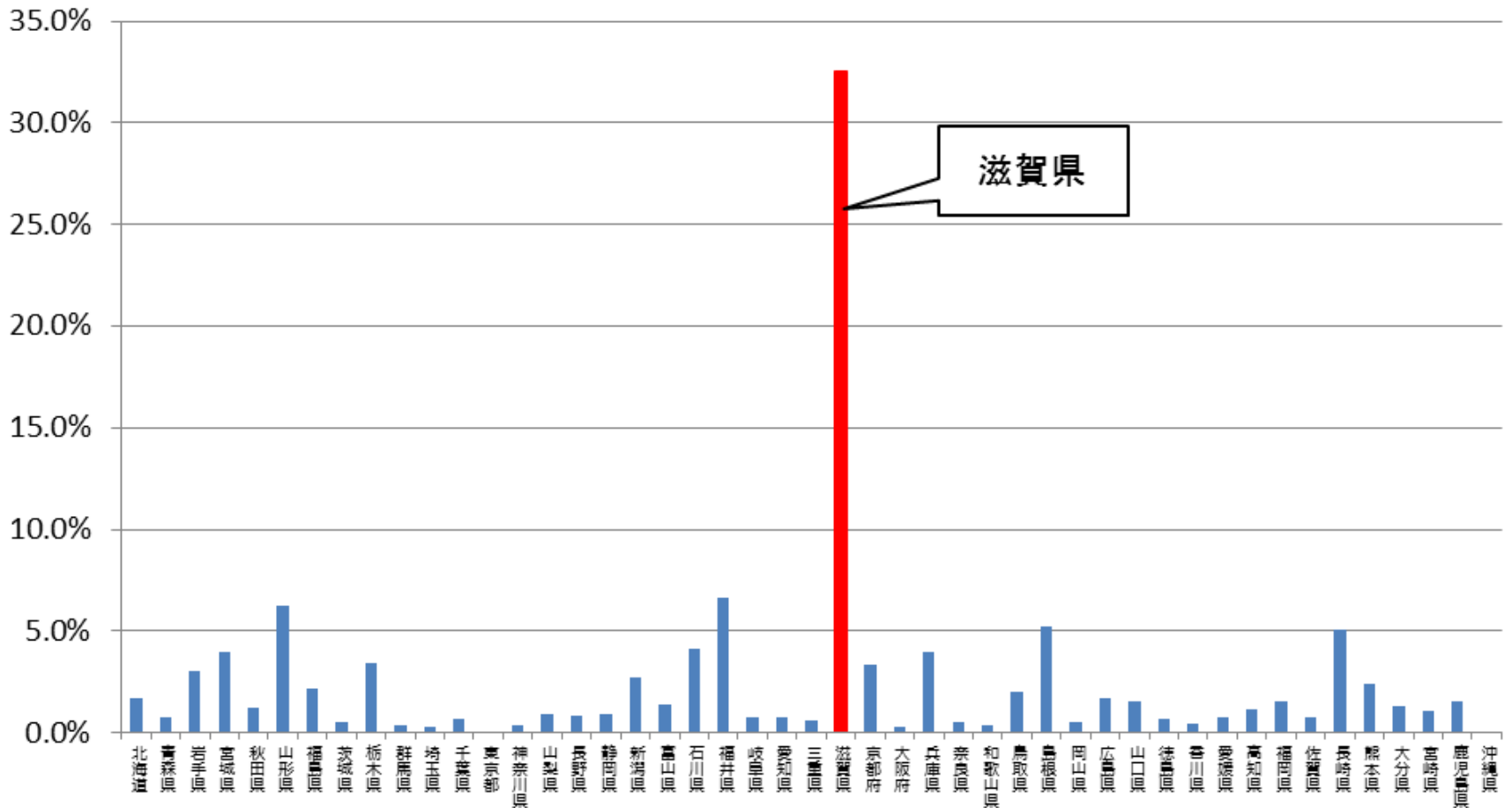




# 環境保全型農業直接支払交付金取組状況

滋賀県は日本一！

環境保全型農業の取組面積が耕地面積に占める割合



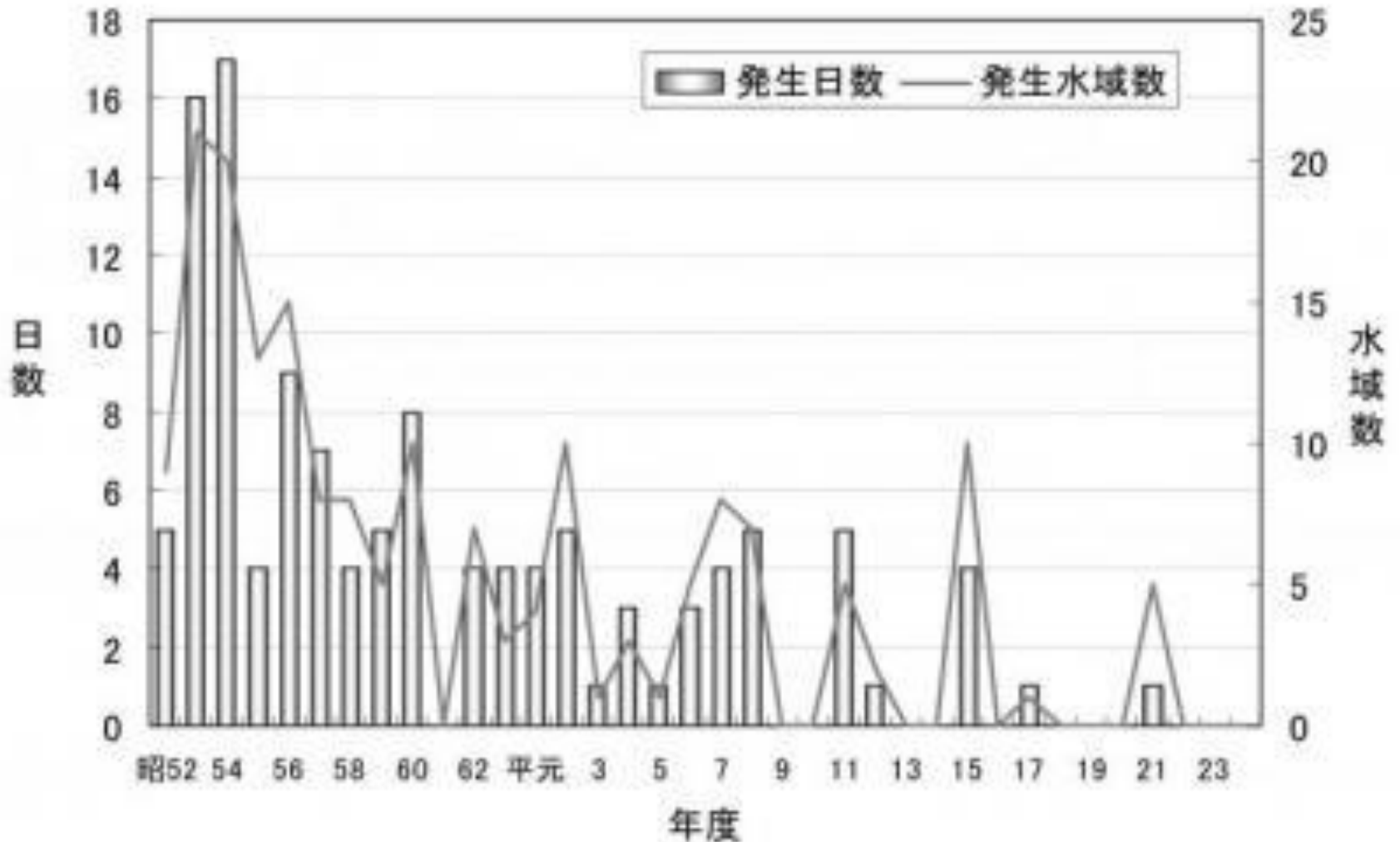
# 取組の成果

## 農地系から琵琶湖に流入する汚濁負荷量

	全窒素 流入負荷量 (kg/日)	全リン 流入負荷量 (kg/日)	COD 流入負荷量 (kg/日)
平成12年度	2,241	119	5,321
平成27年度	1,834	101	4,611
削減率(%)	18.2	15.1	13.3

# 琵琶湖の水質

## 淡水赤潮の発生(滋賀県HPより)



森・里・湖に育まれる  
 漁業と農業が織りなす「琵琶湖システム」



『日本農業遺産』認定！（2019年2月）

さらに「世界農業遺産」認定に向け申請中！



# 課題

- 環境こだわり農産物に対する認知度が低い  
(県民の認知度は45.7% : 2018)
- 環境こだわり農産物が慣行栽培と同程度の価格で扱われる事例が多い

# 今後の取組

- ★環境保全型農業直接支払交付金で取組の継続支援
- ★有利販売・流通拡大に向けた取組の強化(テレビCM等)
- ★象徴的な取組として農薬・化学肥料を使用しない  
オーガニック農業を推進